

踊る

16日に喜びに踊る報告が舞い込んできました。昨年まで勤務していた三宅島の仲間からの写真です。船で沖に出て、高級魚である“アカハタ”を大量に釣り上げたというのです。写真は2kg以上の大きな型ですから通販などで購入すれば3000円は超えるという代物。船が港に戻ったあと、3枚におろして、刺身やあら汁にして食べたそうです。

踊るといえば、2月14日。清瀬中は“ダンスデー”です。決して“バレンタインデー”ではありません。踊るのです!!



まずは2年生。5・6時間目の体育は、体育館で行われました。体育館は学習施設としての機能を超え、ダンスパフォーマンスの会場と化しています。会場が温まり始めると、少しずつ声援が飛び交います。決めのポーズでは大きな拍手と大歓声!!観客の手元には、“見どころシート”なるガイドブックまで存在します。グループごとに見せ場を設定し、練習を重ねてきました。見どころを見逃さないように、山場の時間と内容の解説が載っています。



観客にも飽きさせない工夫が施されています。勇ましいスタイル、かわいらしいパターン、独創的なもの、構成が練られているもの等、盛り上がるダンス発表会となりました。



続いて1組もダンスです。この日に“1組A学級お別れ会”を催したのです。A学級は3月31日をもって、閉級となります。昭和51年4月1日清瀬中学校に知的の固定学級が開設され50年の月日が流れました。数年かけて、この学級を清瀬二中と清瀬三中に引き継いでいきました。お別れですが、二中和三中に仲間が増えるという未来に向かって羽ばたく会なのです。音楽流れ始めると“はいよろこんで”この曲の練習風景は以前の校長室よりもご紹介したので安心して観劇しました。決めのポーズも最高!ダンスが終了して合唱かと思いきや、合唱曲である“道”が流れてきません。なんと次のダンス曲“ライラック”が流れ始めるではありませんか。それで終わりません。“青のすみか”“蕾”4曲のダンスパフォーマンスを観ることができました。みなで一列に並び、唄った合唱も素敵でした。観劇が感激に。合唱が終わるとこれで“完劇”なのだなと少しの寂しさにかられました。

お別れ会のタイミングで船に乗る三宅島の仲間からの連絡。1年前の離島のことを思い出していました。船に乗った



私と紙テープでつながった栈橋にいる仲間。そのテープは船が東京港に進むにつれてやがて切れる。縁が切れたのではなく新たなスタートを切ったのです。

清瀬中A学級は閉じてしまいましたが、清瀬中は続きます。皆さんにとって清瀬中は母校です。そして、いつでも戻って来ることができる母港でもあります。

